

## [緊急集会] 横浜の図書館の発展を願う会、横浜市立図書館への指定管理者導入決定を受けて市内2箇所でも市民集会を開催

横浜市立図書館の将来について考える市民、有識者、司書等で構成される任意団体「横浜の図書館の発展を願う会」（横浜市、代表：溝井正美、電話：090-3099-3292、メール：info@libraryfun.net）は、4月5日（土）、4月12日（土）の2週連続で市内2箇所において緊急市民集会（参加費無料）を開催いたします。



本年2月2日横浜市青葉区・山内地区センターで行われた「みんなの図書館が危ない！？～神奈川の図書館を考えるつどい・緊急集会～」(主催：神奈川の図書館を考えるつどい 共催：横浜の図書館の発展を願う会)は、横浜市立図書館の将来について関心を寄せる横浜市内外の参加者160名が押し寄せ、2日と3日の2日間にわたり東京新聞横浜版に大きく報道されました。(左記画像は3日の記事コピー。記事本文については当該新聞社までお問い合わせ下さい。)

3月16日にはそのPart2として、2月の集会につづいて社団法人日本図書館協会理事・常世田良(とこよだ りょう)氏(元浦安市立図書館館長)をお招きし「まちづくりと図書館」と題しての講演を頂き「これからの地域社会を支え、自立した市民が自ら行動するために図書館の公的役割は大きい。今月、就任したばかりの大阪府知事・橋下氏が「指定管理者制度導入を積極的に」と発言した中で「図書館を除いて」と言って注目を浴びたことなど、これまでの国や自治体の発言を紹介し、すでに導入していた自治体が見直しをし始めていること、コスト削減を第一義としている現状と問題点」についてご報告を頂きました。また、ボランティアとして関わる市内2人のパネラーからは、市立図書館がいままで積極的にかわり支援してくれたことの感謝と、指定管理者制度下で果たして支援を継続してもらえるのか、という不安な心境を率直に話していただきました。参加者からは前回に続き大変勉強になったとのご意見が多数寄せられました。

4月5日、12日のPart3、Part4は前出の2つの集会と流れを一つにし、Part3はかながわ県民活動センター・ホールにて18時から、Part4は瀬谷区福祉活動拠点・パートナー瀬谷にて13時からそれぞれ開催され、いずれも入場無料となっています。(別添広報チラシ資料1、2)

全4回の集会がこれほど短期間に集中したのは、昨年11月21日に横浜市第28回執行会議(横浜市の意志決定機関。議事録は横浜市ホームページにて公開)の議題に「市立図書館の見直し計画(案)」として市教育委員会事務局より1. 地域中核間によるブロック管理、2. 民力を活用した管理運営手法の導入、3. 司書職員の専門的業務への専任化という3項目が公表されたことを受けたものです。

昨年8月に市から公表された「横浜市立図書館のあり方懇談会 報告書」には、市民代表3名を加えた議論の末、指定管理者制度導入については将来に向けて検討すべき課題とされていたにもかかわらず、報告書公表直後に執行会議議題に案として上程されたことは事実上の決定事項であり、横浜市立図書館の運営やサービスに関心を寄せる市民にとっては、まさに「寝耳に水」の事態だったのです。

横浜市立図書館は、限られた予算とハード環境にもかかわらず全18館の有機的なネットワーク、司書全てが市職員として採用されることで専門サービスが高いレベルで維持されています。最近では、医療情報コーナーの新設、ビジネス支援などの取り組みも始まっており、全国的にも質の高い図書館として評価されています。指定管理者の導入によって何をどう変えようとしているのか、市民にとってのメリットは何かなど、市民の共有知的財産としての図書館について考える機会として、これまで図書館を利用したことのない市民の皆さまにも、ぜひこれらの集会にご参加いただければ幸いです。

この件に関するお問い合わせは、横浜の図書館の発展を願う会・溝井正美(みぞい まさみ)までお願いいたします。  
TEL: 090-3099-3292 FAX: 045-306-6300 E-mail: info@libraryfun.net  
上記リリースのテキスト、参考資料リンクは<http://ilove-library.at.webry.info/>にUPされております。

「あの、死にたいんですけど…」

「神奈川県の小売業界について調べてるんですが。」

「戦前に少年雑誌で読んだ宝探しの話、タイトルも作者もわからないんだけどもう一度読みたい…」

「介護していて細切れの時間しかないんだけどもっと知識がほしい。短時間で読める専門書を教えて。」

「燕尾服の作り方が出ている本、ありませんか？」

「妻が、もしかしてガンかも！」

(※ 全て利用者からの実際の質問です。)

(こんな質問してもいい横浜の図書館って、ひょっとしてすごい?)

そうなんですよ! だから、

みんなの図書館が危ない!? Part3

## 横浜市立図書館のこれからを考えよう

— 指定管理者制度導入で横浜と図書館にどんなメリットが? —

図書館への指定管理者制度導入が5月市会で決定されようとしています。

「サービスが悪くなるんじゃない?」「でも財政が厳しいっていうし」「だからって今までの良さがなくなるんじゃない?」。利用者・市民みんなで考えましょう。ぜひご参加を。

日 時: 4月5日(土) 18:00~20:30

会 場: かながわ県民活動サポートセンター・2F ホール

(横浜駅西口徒歩約5分)



### プログラム

第一部 「わがまちの図書館はここが素晴らしい！」

4人の利用者・市民による市立図書館18館の魅力・実力紹介。

第二部 「横浜と図書館は指定管理者制度でどう変わる？」

5人の市民による5分間スピーチ。— 昨年秋以来3回のシンポジウム開催、情報・意見交換、調査研究を踏まえて意見を述べます。

第三部 会場からのご意見

お申し込み: ①氏名②連絡先③ご住所(在住の県・または市・区)を下記宛先へ。

担当: 松浦 ファックス: 020-4624-8996 メール: [dzt00466@nifty.ne.jp](mailto:dzt00466@nifty.ne.jp)

(※ ご意見・質問大歓迎。不参加の方も、ぜひ上記宛先へメッセージを。)

主催: 横浜の図書館の発展を願う会 共催: 神奈川の図書館を考えるつどい

# 横浜市の図書館に指定管理者制度がはいるって？

～みんなの図書館が危ない！？ Part 4～

私たちは、おはなし会や読み聞かせボランティア、学校図書館ボランティアとして、公共図書館に育てられ、その支援を受けて活動してきました。

今、経費削減をうけて、市立図書館に指定管理者制度導入が計画されています。そうなった時、私たちと図書館の関係はどうなるのでしょうか？また、普通に図書館を利用している私たちにとって、図書館はどう変わるのでしょうか？

この機会に、もう一度図書館のサービスについて知り、指定管理者制度導入について、一緒に考えてみましょう。

日 時: 4月12日(土) 13時00分～16時00分

場 所: 瀬谷区福祉活動拠点パートナー瀬谷2階交流室

(瀬谷区二ツ橋318-5 電話045-361-2117 駐車場はありません)

相鉄線三ツ境駅(急行三つ目)より徒歩10分

参加費 無料

申し込み: 氏名、電話、お住まい(県外の方は県名、市外の方は市名、市内の方は区名)を記入の上、下記までお申し込みください。(先着50名)  
お受けできなかった場合のみ、ご連絡いたします。

申込み・問合せ: FAX:045-303-6267(高橋) E-mail: [YQW01170@nifty.com](mailto:YQW01170@nifty.com)(村島)

- |             |   |
|-------------|---|
| 13:30～14:30 | 【講演】 “ <b>ボランティアと図書館</b> ”<br>広瀬 恒子氏(親子読書地域文庫全国連絡会代表)               |
| 14:40～15:30 | 【報告・わたしたちの活動】<br>きずな 高橋桂子ほか<br>せや布えほんぐるーぶ 村島光子<br>南小おはなしかい 森真理子(予定) |
| 15:30～16:00 | 参加者から まとめ   |

主 催 横浜の図書館の発展を願う会 共催 神奈川の図書館を考えるつどい

賛同団体 きずな・風の会・おはなしいろは

賛同者 広瀬恒子(親子読書地域文庫全国連絡会代表) 長崎源之助(児童文学者) 長野ヒデ子(絵本作家) 佐藤きい子(森の会) 森地のり子(きやきサロン) 村島光子(せや布えほんぐるーぶ)